



天を造り出し、  
これを引き延べ、  
地とその産物を押し広め、  
その上の民に息を与え、  
この上を歩む者に  
霊を授けた創造主は  
こう仰せられる。  
わたし、主は、  
義をもってあなたを召し、  
あなたの手を握り、  
あなたを見守り、  
あなたを民の契約とし、  
国々の光とする。  
イザヤ四十一章5、6節

## 地球の良い管理者として

ジェネシスジャパン会長 宇佐神 実

神はご自分が造ったすべてのものを見られた。  
見よ。それは非常に良かった。  
創世記1章31節

### 創造された世界

創造主が万物を造り終えて、すべてをご覧になった時、『見よ。それは非常に良かった。』とあります。今日と違ってまだ人が罪を犯す前で、世界は呪われておらず、死も病気も悲しみもなくすべてが完全だったことが聖書に記されています。

さて、一流の会社が何か製品を製作販売する時、非常に良い状態でそれが出荷されるように努めます。それを購入する人も、その製品が非常に良い状態であることを期待します。

たとえば日本の自動車は、その

品質の良さと信頼性において世界でも高い評価を受けています。それは、非常に良い自動車を顧客に届けているからです。

新車を購入する人は「すぐ壊れるのでは」とか「プレーキやハンドルはきちんと作動するだろうか」と心配することはありません。新車がベストな状態で納入されることを期待しているからです。

まして創造主の御性質は、愛と慈しみに富む善良なお方で、全知全能です。この方が造られた世界が、愛と慈しみに富む善良で非常に良い世界でないはずがあるでしょうか。全知全能の創造主は、最高の状態で万物を完成させたは

ずです。

創造主は、万物を造られましたが、それらは個々独特の特性をもつ元素から成り立っています。またエネルギー保存の法則、重力の法則などすべての自然法則を定めました(ヨブ38:33)。

太陽と月を予め定めた位置に配置し、人に必要な光と熱が適切に届くようにされました。さらに、それらの絶妙な位置関係で潮の満ち引きが起り、海岸線も常に洗われ、水が停滞して腐らないようにされています。

そこには人や動植物の生存に欠かせない窒素、酸素を主成分とする空気があり、二酸化炭素も微量



に含まれています。植物は光合成によって、二酸化炭素を取り込み、酸素を排出し、成長します。その酸素を人や動物はエネルギー源として取り込んで、二酸化炭素を排出します。この循環によって、酸素と二酸化炭素の量はほぼ一定に保たれています。このシステムは酸素循環と呼ばれます。

また、水が蒸発して雲を形成し、それが雨となって降り、大地を潤し、川となって流れ、海に注ぎ、それらの水がまた蒸発するという水の循環システムも存在します。また、地球の自転によって生じる大気の流れや海水の循環、いずれも地球環境を保つのに役立っています。

### 御子が保っている地球

近代科学の発達でこのようなさまざまなシステムによって地球が保たれていることが解明されてきました。他にも窒素循環、炭素循環などの物質の循環や、動植物の共生など、多種多様なシステムが存在し、地球はすべてが相補的に働いてちょうど良い状態を維持できるような状態になっています。

人の体温を一定に保つ仕組み一つを考えても、神経、皮膚、血管、筋肉、汗腺などが相補的に働くことで、よほどのことがない限り、ちょうど良い状態を維持できるように造られています。

同様に地球にも、状況の変化に応じて良い状態を保てるような仕組みが備えられているでしょう。それは、この地球がノアの大洪水やそれに引き続いて起こった氷河時代<sup>1</sup>という大激変を乗り越えて今日まで保たれてきたことからわかります。

そして、創造主は、ノアの洪水の直後に、地が続く限り農作物の

収穫と寒暖と季節と昼夜が続くこと、また大洪水で再び地球を滅ぼすことはしないと約束しています(創 8:22、9:11)。

さらに聖書は、天地万物が御子によって造られただけでなく、保たれていること(ヨハ 1:3、ヘブ 1:2-3)も教えています。

地球全体の維持管理の最適者は、それを造りその環境システムを整え、そのすべて知り尽くしている御子ご自身以外にありません。自動車会社が自社の車を一番良くわかっていて、最適の維持管理ができるように、この地球は御子が最適な維持管理をしていることを信仰によって私たちは確信するのです。(ヘブ 1:3, 11:1)

### 温暖化に関するデータ

さて、世の中ではここ数十年、気候変動による地球環境の悪化が叫ばれ、温暖化によってこのままでは地球が滅ぶといったメッセージが叫ばれ続けています。

2019年に当時16歳の環境活動家グレタ・トゥーンベリは、国連気候行動サミットで「多くの人たちが苦しんでいます。多くの人たちが死んでいます。全ての生態系が破壊されています。私たちは大量絶滅の始まりにいます。…30年以上にわたって、科学ははっきりと示してきました。」<sup>2</sup>と述べ、躍時の人となりました。彼女はタイム誌の2019年パーソン・オブ・ザ・イヤーに選ばれています。

このサミットでは66か国が2050年までに温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにするカーボンニュートラルを約束しました。ただし、二酸化炭素排出量の多い国、中国、米国、インド、ロシア、日本などは含まれていません。<sup>3,4</sup>

また、ワシントンタイムズ誌は、

世論調査によると、若い有権者の51%が今後10年で地球上の生命は終わると信じていることがわかったと報じました。<sup>5</sup>

では、科学データは本当に生態系の破壊が深刻だとか生命が絶滅の危機の瀬していることを示しているのでしょうか。

オーストラリア温室効果対策オフィス(AGO)で気候変動の調査と対策に従事したデイヴィッド・エヴァンズ(常勤1999年～2005年、非常勤2008年～2010年)は、当初人が排出する二酸化炭素が深刻な地球温暖化をもたらしていると信じて研究を重ねました。しかし、彼はIPCC(気候変動に関する政府間パネル)が発表するデータと実測データとに食い違いがあることとIPCCの極端な温暖化予測に直面し、『温暖化が深刻な状態にある』という地球規模の思い込みを疑うようになりました。

IPCCの予測データと実測データとの違いは次ページにある通りです。IPCCの予測とは違い、実際の温暖化はそれほど進んでいません。また、表3の下図が示すように、二酸化炭素の増加で温度を上昇させる力が働いても、雲が形成されて太陽光を反射させるなど温度上昇を抑える力も働くことが予測されます。IPCCの報告では、今も危機が叫ばれていますが、実際の科学データは、地球が危機に瀕していることを示していません。

### 過去の予測と実際

米国の副大統領アル・ゴアは環境ドキュメンタリー映画「不都合な真実」の中で、温暖化のために地球が危機に瀕していると訴えました。しかし、彼が用いたデータ

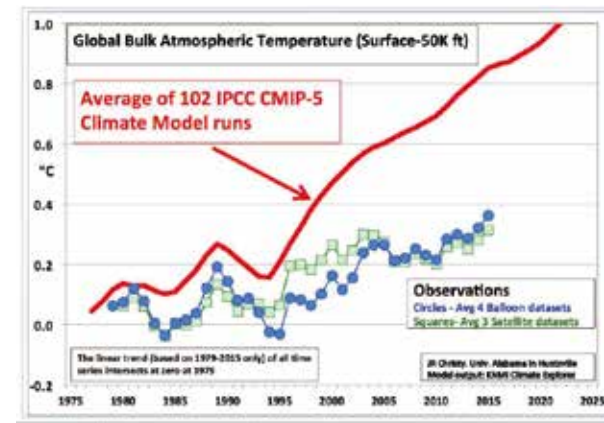


表1 米国下院で報告された温暖化の比較<sup>6</sup>

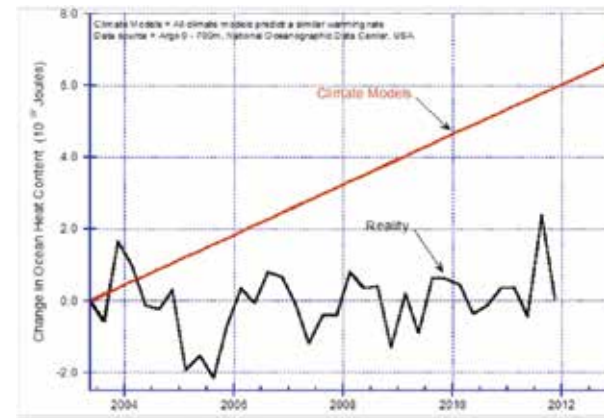


表2 海洋温度の予測とアルゴ実測値との比較

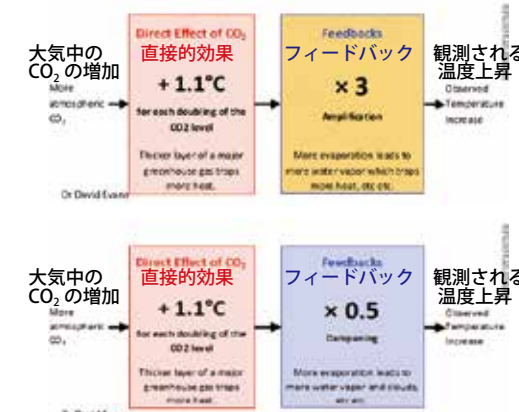


表3 二酸化炭素の増加と事実即した温暖化予測

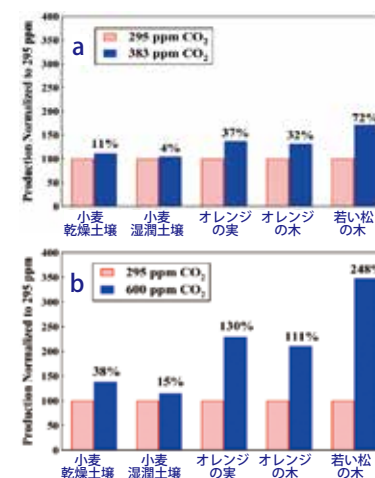


表4 二酸化炭素の増加と植物の生育の関係

気象学者ジョン・クリスティ(アラバマ大学ハンバースビル校教授)は、2016年2月に米国下院科学宇宙技術委員会で気象観測球と衛星による実測値がIPCCの報告データと違うことを報告した。2013年のIPCC第5次評価報告は、実測値より全体的に高く、特に1995年頃から極端にかけ離れていっている。また、今後の予測値も実測値の傾向と大きく異なる。<sup>6</sup>

赤い実線: IPCC第5次評価報告に記載された気候モデル  
青丸: 気象観測球による4つの実測データ報告(NOAA, UKMet, RICH, RAOBCOREによる)の平均値  
緑四角: 衛星による3つの実測データ報告(UAH, RSS, NOAAによる)の平均値  
<<https://docs.house.gov/meetings/SY/SY00/20160202/104399/HHRG-114-SY00-Wstate-ChristyJ-20160202.pdf>>

海洋は気候システムの熱の大部分を保持している。2003年にアルゴ計画が稼働し始めたことで、正確な海水温度を測定できるようになった。アルゴ計画では海洋に投入したアルゴフロートが2,000メートルの深さまで潜り、ゆっくりと上昇しながら温度を測定し、それが衛星を通じて報告される。3,000個以上のアルゴフロートが世界中の海を絶えずパトロールしている。アルゴ計画による海洋温度の変遷の実測値(黒線)は、気候変動モデルの予測(赤線)のように上昇していない。

表2は、オーストラリア温室効果対策オフィス(AGO)の元職員デイヴィッド・エヴァンズの報告による。  
<<https://joannenova.com.au/2012/01/dr-david-evans-the-skeptics-case/>>

二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)レベルが倍増(2070～2100年頃と予測)した場合、二酸化炭素自体による直接の温度上昇は1.1°Cと算出される(物理学で実証されている事実)。フィードバックは、二酸化炭素による温度上昇に対して地球が反応して生じる温度変化。左上図のフィードバック値[×3]は、温度が上昇すれば海水が蒸発し、主要な温室効果ガスである水蒸気の量の増加で温度がさらに上昇するはずだと推測して考案された1980年頃の推定値。大抵の温暖化予測はこのフィードバック推定値に基づいて算出される。このため二酸化炭素の増加に対して3倍の温度上昇を見込まれて報告され、実際と開きがでている。

デイヴィッド・エヴァンズは、海水が蒸発しても余分の水蒸気は雲となり、雲が太陽光を反射させて太陽熱の流入を阻むため、二酸化炭素の増加に対する実際のフィードバックは0.5倍(左下図)と予測している。実測値は、エヴァンズの予測と合致している。もし二酸化炭素レベルが倍増したとしても、温度上昇は0.5°C程度と予測される。  
<<https://joannenova.com.au/2012/01/dr-david-evans-the-skeptics-case/>>

左上図(a)は、二酸化炭素濃度が1885年(ピンク)年に295ppmから2007年(青)現在で383ppmまで増加し、その結果全体的に植物の生育が活発になっていることが示されている。左下図(b)は、1885年の二酸化炭素濃度(ピンク)を基準として、約2倍の600ppmまで二酸化炭素が増加した時の植物の生育の予測で、二酸化炭素が増えることで緑が豊かになることが示されている。このことから、二酸化炭素が増加し、温暖化が進むことで植物が繁殖しやすくなり、人や動物の食料が増産でき、逆に二酸化炭素が減って寒冷化が進むと植物は生育しにくくなり、食料も減少することがわかる。

"Environmental Effects of Increased Atmospheric Carbon Dioxide" Petieion Project  
<[http://cloud.mrlegal.com.au/mrhomepage.nsf/0d6f50f1d7b71ca7482582240033242e/e419e9665b5d3fd4c8257510005084fe/\\$FILE/Environmental%20Effects%20of%20Increased%20Atmospheric%20Carbon%20Dioxide%20-%20Global%20Warming%20Petition%20Project.htm](http://cloud.mrlegal.com.au/mrhomepage.nsf/0d6f50f1d7b71ca7482582240033242e/e419e9665b5d3fd4c8257510005084fe/$FILE/Environmental%20Effects%20of%20Increased%20Atmospheric%20Carbon%20Dioxide%20-%20Global%20Warming%20Petition%20Project.htm)>





は改ざんされたものであったり実際には温暖化の証拠ではないものをまるで温暖化の証拠にみせかけたものなど映画「不都合な真実」が不都合な真実となっています。

1989年、国連は、温暖化で海面上昇が止まらなければ、2000年までにツバル諸島は、海中に沈むと発表しました。この発表は、温暖化で地球が危機に瀕していると人々に思い込ませ、ツバル諸島の人々を震撼させました。では、ツバル諸島は沈んでしまったのでしょうか。実際には、ツバル諸島は過去40年で国土が3%増えています。<sup>7</sup>

また北極の氷が温暖化で溶けてしまうため、シロクマの生息域が失われて絶滅するとされましたが、そのようなことは起こっていません。2007年に、ティム・フラナリーは「後5年で北極海の氷がなくなっていることを想像してほしい」と述べ、オバマ大統領も2008年に「2014年までに北極海の氷が消える」と予告しました。実際に1980年に7.5百万km<sup>2</sup>あった氷は2010年には4百万km<sup>2</sup>になっていますが、2020年には再び5.5百万km<sup>2</sup>と増えています。<sup>7</sup>

ジャスト・ファクト・デイリー

は「過去30年間を見ると、植生、森林、絶滅、農業、洪水、降雨、ハリケーン、人の健康などの気候変動に関する様々な懸念に対し、測定可能な結果は、状況が横ばいか改善されていることを示している。これは『明白な』科学であり、トゥーンベリの信念とは矛盾する」<sup>8</sup>と報じています。

### 温暖化は悪い？

二酸化炭素が多く排出され、温暖化が進むと、本当に地球は危機に陥るのでしょうか。

1989年に国際連合環境計画のウィリアム・マンスフィールド3世が、「温暖化は人類が直面する最大の課題である。気温、雨量、海面のいかなる変化も植物などの自然のシステムにとって壊滅的な打撃を与えると予測される。」<sup>8</sup>と述べました。

しかし実際には、1982年から2014年にかけての人工衛星による測定データの調査で世界の植生地帯では25%から50%以上植物が成長しており、この期間に植生が減少したのは4%に過ぎなかったことがわかりました。<sup>8</sup>

逆に二酸化炭素の排出を抑えて

寒冷化が進むと、植物は成長を抑制され、食糧不足に陥ってしまうのです。二酸化炭素を抑制することが本当に環境をよくするのかというと、実際のデータは逆を示しています。

オーストラリアでは、2019年に発生した山火事が大惨事をもたらしました。それは環境活動家が森林の木を間引くのに反対したためです。

南アフリカの国立公園では、人々が昔から家畜の放牧をしていました。しかし人が自然に手が入れると環境が破壊されるからと放牧が禁止されました。その結果、動物の糞が撒き散らされなくなり、植物の生育に必要な養分が失われ、砂漠化が起こっています。

森林は老木が増えるにつれて光合成が不活性化します。また老木になると酸性化するため、伐採して植林しないと土壌が酸性化し、雨が降るとその酸性成分が流れ出して酸性湖が出現する原因となります。つまり森林は人が管理することで良い環境を保てるのです。

聖書に基づいて考えると、人は創造主から地球の管理を委ねられています（創1:28、9:2）。創造主は慈愛に満ちた善良な方ですから、当然、人にも慈愛と善良な動機から知恵を用いて世界を管理することを期待されています。聖書の視点から見ると、自然環境は人手が入ることで良い状態が保たれるように造られているのです。

### 進化論の歴史観

多くの人は、「科学データが問題の深刻さを証明している」と誤った理解を植えつけられています。そのためにすぐにでも二酸化炭素を減らさなければ地球は滅

び、人類は滅亡するという焦燥感と危機感に突き動かされて一生懸命になっています。

その背景には、今日の環境問題を作り出し、それを用いて人をコントロールしようとしているヒューマニズムやネオマルキシズム思想に基づく考え方があります。これが温暖化をはじめとする環境問題を真の意味で深刻で根深いものとさせています。これは、現代の底流にある創造主の存在を否定する思想で、万物は長い年月をかけて進化して出現したという信仰です。

生物の進化は、科学として扱われていますが、実際に魚から両生類や爬虫類が生まれる過程が観察された例はなく、子は親と同じ形質を受け継ぐという遺伝の法則にも反しています。

ではなぜ進化論が教えられているのでしょうか。それは「創造主が存在すると教えることは宗教の教育だ」と忌避されるからです。「創造主は存在しない」を前提に据える時、地球が存在できる唯一の答えは「自然に出現した」しかありません。証明不能にも関わらず進化論が事実のように教えられることで、地球の存在に創造主は不要と信じさせているのです。

そして環境活動家の多くは『進化の歴史の中で、最後に人が登場するまでは、何億年もの間地球の自然環境は微妙なバランスを保ってきた。しかし人の登場によってバランスが崩れ自然破壊が始まった。』と教えられ、人の存在は地球にとって害悪であると考えています。

英国BBC放送の重鎮でナチュラルリストのデイビッド・アッテンボローは、自然を扱った番組を多数制作していますが、彼は人類に



ついて「我々は地球上の疫病であり、その疫病は今後50年で我が身を襲う」と述べています。<sup>9</sup>

人類が、このまま増え広がるなら、環境を破滅し、資源を枯渇させ、地球は滅亡に導かれるし人類も滅ぼされるというのです。このため、多くの環境活動家は人が自然を保護することを嫌うのです。

また、環境破壊の原因はキリスト教にあると多くの環境活動家は考えています。

1969年にリン・ホワイトは著書「機械と神」の中でこう述べました。「キリスト教は・・・人と自然の二元論をうちたてただけではなく、人が自分のために自然を搾取する事が神の意志であると主張したのであった。」<sup>10</sup>これは、創造主が人に地球の管理を委ねられたことを歪曲した主張です。

また、「近代的な西欧科学はキリスト教神学の母体の中で鑄造された。・・・今から一世紀ちょっと以前に、それまで全く離れていた活動であった科学と技術が一緒になり・・・抑制のきかない力を人類に与えたのである。もしそうなら、キリスト教はとてつもない罪の重荷を負っている。」<sup>10</sup>

これはまるで「ハンマーで人が殺されることがある。だからハンマーを作った会社はとてつもない罪の重荷を背負っている」と言っているようなものです。ハンマーを作った会社が問題なのではな

く、誤った使い方をした犯人に問題があるように、創造主や聖書に問題があるのではなく、自然を搾取しようとする人の罪に問題があるのです。

ドイツの経済学者でIPCCのワーキンググループIIIの共同議長を務めるオットマー・エデンホーファーは、炭素税を提唱した人物です。

彼はインタビューに答えてこう述べています。「しかし、明言しなければならぬことは、我々は気候政策によって事実上世界の富を再分配しているのだ。石炭や石油の所有者がこれを歓迎しないことは明らかである。人は、国際気候政策が環境政策だという幻想から抜け出されなければならない。これはもはや森林破壊やオゾンホールなどの問題といった環境政策とはほとんど無関係だからである。」<sup>7</sup>

彼は、IPCCが環境の改善を目指しているのではなく、世界中の富の再分配を目的とした政策を行っているというのです。

環境問題で大変だと危機感を抱き、その問題の解決のために税を課し、巨費を投じて取り組もうとするなら、国は疲弊し、立ち行かなくなるのではないのでしょうか。

### キリスト者として

科学者の多くは、データに基づいて温暖化問題に疑念を抱いてい





ます。一方、IPCC の報告は、不安を煽るような予測を立てて環境教育をし、人々を IPCC の政策の虜にしています。

それでは地球環境に関してクリスチャンはどう考えるべきでしょうか。まず、御子が地球を維持していることを確信し、地球を適切に管理できるように主の知恵を求めましょう。科学技術が発達したとはいえ、自然に対する理解はまだ不完全であることを謙遜に受け止めましょう。そして私たちは知恵の十分に及ぶ範囲で、愛と善意をもって自然を管理し、資源

を維持しつつ利用する方法を考えましょう。人に病気や死をもたらす公害は、極力防がなければなりません。

ヒューマニズムに基づく環境理解では、自然よりも人の命が軽視されがちです。このような世の教えを鵜呑みにするのではなく、何が創造主に喜ばれ、何が人を愛し人の役に立つかを慎み深く考え、判断して行動することを心がけましょう。これは、聖書信仰に立つクリスチャンにしかできないことだからです。(ロマ 12:2,3)

#### 引用文献・参考文献

1. 宇佐神実「創世記が鍵：氷河時代の謎を解く」ニュースレター第 21 号、ジェネシスジャパン 2015.1.15<<http://genesisjapan.com/NL21-30/NL021/news21.htm>>
2. 安田聡子「グレタ・トゥーンベリさん。国連で怒りのスピーチ。」 Huffpost, 2019.9.24, <[https://www.huffingtonpost.jp/entry/greta-thunberg-un-speech\\_jp\\_5d8959e6e4b0938b5932fcb6](https://www.huffingtonpost.jp/entry/greta-thunberg-un-speech_jp_5d8959e6e4b0938b5932fcb6)>
3. 田村堅太郎「気候行動サミットの成果は何だったのか」地球環境戦略研究機関, 2019.11 <<https://www.iges.or.jp/pub/climate-action-summit/ja>>
4. 「二酸化炭素排出量の多い国」外務省 <<https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/ranking/co2.html>>
5. Harper, J. "51% of young voters believe life on Earth will end in a decade, poll finds" The Washington Times, 2019.9.24 <<https://m.washingtontimes.com/news/2019/sep/24/51-of-young-voters-believe-life-will-end-on-earth/>>
6. Christy, J. "U.S. House Committee on Science, Space & Technology" 2016.02.02. <<https://docs.house.gov/meetings/SY/SY00/20160202/104399/HHRG-114-SY00-Wstate-ChristyJ-20160202.pdf>>
7. Batten, D. "Anthropogenic Global Warming (AGW)" Creation
8. Agresti, J. "Climate Change Fears of Teen Activist Are Empirically Baseless." Just Fact Daily, 2019.10.17, <<https://www.justfactsdaily.com/climate-change-fears-of-teen-activist-are-empirically-baseless/>>
9. "Sir David Attenborough calls humans 'a plague on the Earth'" NBC News, 2013. 1. 23 <<https://www.nbcnews.com/id/wbna50554460>>
10. リン・ホワイト「機械と神」みすず書房 1999.12.10. pp.87-91

## ご連絡

- ・春の創造セミナーを企画していましたが、Covid-19 第 6 波のため、今年は断念し、来年 3 月末に延期しました。
- ・秋の創造セミナーは日程が変更され 2022/10/12-14 となりました。
- ・創造を伝える養成講座は少人数開催で開催します。要相談。
- ・アジア圏で Covid-19 が早く終息し、創造を伝える働きを再開できたらと願っています。覚えていただければ幸いです。

## 献金のお願い

国内外に創造主のみわざを伝えるため、ご支援をお願いします。

ジェネシスジャパン

ゆうびん振替 00350-7-3364

ゆうちょ銀行 10650-52405611

## 講義・イベント予定

### ■創造を伝える働き人養成講座

\*2022/2/21-22 @北海道/網走

\*2022/2/23@北海道/苫小牧

### ■秋の創造セミナー

\*2022/10月 12-14日

主講師：A. マッキントッシュ博士

元英国リーズ大学教授

ホテルグリーンプラザ白馬

### ■第四回全アジア創造カンファレンス台湾大会 2023年7月を予定

お問い合わせ・セミナーのご依頼は、  
ジェネシスジャパンまで

# 創造を伝える働き人養成講座

## 【募集要項】

- ・聖書の言葉が創造主の言葉だと信じる方。
- ・御子イエス・キリストを救い主と信じる方。
- ・創造を信じることの大切さを学び、伝えたいと願う方。

## 講座の目的と概要

- \* 創造主のみわざのすばらしさに感動し、その感動を伝える働き人が起こされる。
- \* 創造論の講演に加え、創造論の背景となる知識や考え方を少人数で学ぶ。
- \* 創造を伝えるために役立つ資料の提供。
- \* 修了証授与（全日程参加者）
- \* 創造論を用いての個人伝道、CS や教会でのメッセージ、講演ができるよう協力。

(参加費等はお問い合わせください)

詳細はジェネシスジャパンまで